

令和 7 年度

事業計画書

特定非営利活動法人虹色

法人理念

「笑顔を繋ぎ 豊かな社会へ」

行動指針

- 1 すべての人が笑顔でいられる施設をつくろう
- 2 感謝をもって仕事に取り組もう
- 3 常に相手を思いやり気づいたら自分から行動しよう
- 4 地域に必要とされる法人にしよう
- 5 子供たちの未来が輝く社会づくりに貢献しよう

令和7年度 施設運営方針

1. 利用者、ご家族との連携を図り、安心して利用していただける法人を目指す
2. 特定非営利活動法人の役割を果たし、社会貢献・地域貢献を積極的に取り組む
3. 法人の安定運営を目指し、各施設が創意工夫し黒字運営する
4. 職員全員が目的意識を持ち、新たな利用者と新たな仕事の確保に努力する
5. 社会から認められる法人を目指し、日々の業務に誠実に取り組む

令和7年度 事業計画書

なないろ 生活介護事業

管理者 成宗 良

サービス管理責任者 山田 照美

1. 運営方針

- (1) 特定非営利活動法人の役割を果たし社会貢献・地域貢献にも積極的に取り組んでいく。
- (2) 法人の安定運営を目指し各施設が創意工夫し黒字運営を行う。
- (3) 利用者、ご家族との連携を図り安心して利用していただける法人を目指します。

2. 重要施策

- (1) メバルの稚魚養殖を目指し、稚魚を瀬戸内海へ放流できる環境や体制を整備する。
- (2) 支援学校や医療機関などの関連機関から令和7年度は4名契約する。
- (3) 2階テラス改修
事業所活動普及・会食や事業所参加日などを実施する。
入浴サービス開始にむけて浴槽などの見積もりや予算予測（施行予定は令和8年度）

3. 年間事業計画

(1) 稚魚養殖

令和7年度中にメバル稚魚の飼育や生態系を見極め、10 cmのメバル稚魚への飼育方法を確立する。

時期	内容
4月～5月	作業場を確保
6月～	メバル稚魚手配（玉野市）
7月～	稚魚飼育方法見極め

(2) 介護給付費予算（令和7年度は4名契約）

4月	3, 200, 000	10月	3, 534, 340
5月	3, 200, 000	11月	3, 868, 680
6月	3, 200, 000	12月	3, 868, 680
7月	3, 534, 340	1月	3, 868, 680
8月	3, 534, 340	2月	3, 868, 680
9月	3, 534, 340	3月	3, 868, 680

2025年度介護給付費	43, 080, 760
-------------	--------------

- (3) 利用者、ご家族との連携を図り安心して利用していただける法人を目指す
家族会や事業活動見学日を設け、事業活動発信や家族との情報共有の時間をつくる。
法人内の広報誌やSNSのツールを利用し利用者の活動場や事業所活動を家族や関連
機関に普及する。
蘇生法や強度行動障害などの研修を活用しながら、専門性向上や『安心・安全』に
過ごせる環境を提供する。
来年度に向けて、浴槽改修費を見極め、入浴サービス提供を判断する。
2階テラス改修後テラス内での活動の場を増やすとともに家族との交流場として利用す
る。

令和7年度 事業計画書

ほくと 就労継続支援B型事業

管理者 北本 進

サービス管理責任者 北本 進

1. 運営方針

- ・安心して利用できる開かれた施設を目指します。
- ・社会・地域貢献のできる施設を目指します。
- ・安定した継続性のある施設運営を行います。
- ・自ら考えて行動のできる自立した人間育成を目指します。

2. 重要施策

- (1) 利用者、ご家族との連携を図り安心して利用していただける施設を目指します。
- (2) 施設の安定運営を目指し、創意工夫し黒字運営を行います。

3. 年間事業計画

- (1) 年1回の家族総会を行います。
- (2) 個別支援計画の更新時を利用して、希望者には作業参観の実施を行います。
- (3) 事業収入10%増アップ。平均工賃4万円以上を目指します。
 - ①うどんの販売先を開拓します。
 - ②贈答用製品の開発を行います。
 - ③注文販売用のチラシを作成します。
- (4) 必要経費の精査を行い、より正確な経費の割合を出します。
- (5) 余暇活動として。
 - ①計算学習や習字を行います。
 - ②外出行事を行います。

令和7年度事業計画書(案)

みなと就労継続支援 B 型事業

管理者 大竹 洋輔

サービス管理責任者 大竹 洋輔

I 運営方針

- 1 利用者、ご家族との連携を図り安心して利用していただける法人を目指します。
- 2 特定非営利法人の役割を果たし社会復帰・地域貢献にも積極的に取り組んでいく。
- 3 法人の安定運営を目指し各施設が創意工夫し黒字運営を行う。
- 4 職員全員が意識を持ち新たな利用者、新たな仕事の確保に努力する。
- 5 社会から認められる法人を目指し日々の業務に誠実に取り組む。

II 重要施策

法人の安定運営をするため、新規利用者の獲得が必須であり、重要施策として取り組む。今まで取り組んだことのない(新たな取り組み)活動として、令和6年度3月から始め、相談支援事業所(倉敷市内 36 か所、浅口市内 4 か所)の訪問により、良好な関係作りと当事業所のアピールを行う。最低でも年3回は訪問を実施し、定員確保(現時点では 17/20 名)に努め、訓練給付費の向上を図る。同時に平均工賃 35,000 円(本年度予測は 31,000 円程度)以上を目指し次年度の基本報酬向上を図る。

そのために、早期に人材を確保し、うどん店の土日営業を再開する。合わせて軽作業の内容も単発作業を月1回ペースで獲得し、充実を図る。

年間 25,390,000

(土日営業を再開して、集客数アップを狙い売上を前年度より約32%向上を図る。)

年間 300,000 円

(人員を固定化し、作業効率を上げて利用者のスキルアップを高め平均 20,000 円以上を目指す。)

年間 876,000 円

(作業効率上げて生産数を増やす。今まで通り、納期の期限を遵守する。)

年間 360,000 円

(高単価でコストパフォーマンスの良い作業を取り入れる。)

令和7年度 訓練給付費目標金額

月別	訓練給付費	月別	訓練給付費
4 月	3, 027, 370	10 月	3, 333, 130
5 月	3, 119, 090	11 月	3, 436, 850
6 月	3, 232, 110	12 月	3, 547, 170
7 月	3, 333, 130	1 月	3, 761, 210
8 月	3, 333, 130	2 月	3, 404, 880
9 月	3, 232, 110	3 月	3, 761, 210
合 計		40, 521, 390	

Ⅲ 年間事業計画

取組事項①

新規利用者確保について

- (1) 新規の利用者確保のためには、倉敷市内の相談支援事業所 36 ヶ所、浅口市 4 ヶ所の訪問を年3回のペースで実施し営業活動に力を入れパンフレットを配布する等PR活動を行う。(年に 3 回訪問 8 月、11 月、3 月)
まきび支援学校や倉敷支援学校と日頃から関わりを持ちながら積極的に実習生の受け入れを行い、卒業後は施設の利用に繋がることを目指す。(随時)
- (2) 作業収益向上について
倉敷市の内職あっせん所と密に連携を図ると共に、倉敷・浅口方面の内職取り扱い企業と積極的に交流を図り、内職作業の新規開拓に努める。
(3 ヶ月に 1 回の頻度)
うどん店舗では、5 月頃を目標に週末の定休日を解消し集客アップを図る。
4 月からの取り組みは、キャッシュレス決済 PayPay を導入することでニーズの高い決済手段を提供する。うどん店舗にて、余ったうどんを翌日に「前日うどん」として1玉60円で販売しフードロス削減や原価回収のために取り組む。
うどんのサイズを小・中・大の設定を行い、お客様のニーズに対応する。

取組事項②

利用者・家族との連携を図り安心して利用していただくためにも年に3回の茶話会を開催し、ご家族と交流の場を設ける。

以 上

令和7年度 事業計画書

ハレルや 就労継続支援B型事業

管理者 井上愼家

サービス管理責任者 藤原久美子

1. 運営方針

- (1) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成する。
- (2) 利用者に対して障害福祉サービスを提供するとともにその効果について継続的な評価を実施する。
- (3) 利用者が欲する障害福祉サービスを提供することにより、利用者満足度を向上させる。

2. 重要施策

(1) 利用者満足度の向上

法人内の研修だけでなく、外部の研修に積極的に参加できる体制を整え、接客スキルの向上を図る。これらを実践することで、サービスの質と満足度を向上し、継続利用と新規利用者の利用促進につなげる。

また、新規作業の開拓と、企業との信頼関係の構築を目指しながら、高単価の作業を確保していき、平均工賃の向上を目指す。

(2) 安全対策や環境美化の徹底

事務所の移転に伴い環境が大きく変化した但、利用者の安心・安全を第一に考え、事故のない環境整備を行っていく。

3. 作業目標

年間売上目標 819 万円

○軽作業

- ・黒にんにく作業（自然共生）選別、計量、パック詰め、皮むき等
年間売上目標 180 万円（税込み）
- ・白ニンニク作業（関西通商）草抜き、収穫、ばらし等
年間売上目標 18 万円（税込み）

○食品製造販売

- ・シフォン製造（自社製造販売）

年間売上目標 250 万円（税込み）

○清掃作業

- ・公園清掃等（緑化協会、宇野港管理事務所）ゴミ拾い、トイレ清掃、草刈り等

年間売上目標 226 万円（税込み）

- ・ヤマスイ物流 清掃

年間売上目標 145 万円（税込み）

4. その他取り組み

利用者の意向を踏まえたサービス提供

- （1） 毎月、運営会議・個別支援会議を行い、事業所・作業場としての取り組みを報告・共有する。
- （2） 事業所での苦情処理体制の継続及び整備・拡充を行う。
- （3） 苦情の際には速やかに対応し、利用者の笑顔を損なわぬよう対処する。
- （4） サービス向上に向けて、年に一度の満足度調査を行い、利用者一人一人の意見・要望に対処し 迅速且つ柔軟に対応していく。

以上

令和7年度 事業計画書

グループホームあかつき宇野

共同生活援助護事業

管理者 成宗 良

サービス管理責任者 山田 照美

1. 運営方針

- (1) 法人の安定運営を目指し各施設が創意工夫し黒字運営を行う。
- (2) 利用者、ご家族との連携を図り安心して利用していただける法人を目指します。

2. 重要施策

- (1) 日常生活で使用しているコスト削減を図る。
- (2) 家庭的な雰囲気の中で共同し自立した日常生活が送れるようにする。
利用者の障害特性や生活に合わせ各利用者のニーズに沿った支援を行う。

3. 年間事業計画

(1) コスト削減

食堂やトイレなど電灯をLED 電灯に変更する。順次居室の電灯も変更する。

(2) 配食サービス業者の変更を行い、利用者の趣向にあった食事内容に変更する。

GWや年末年始の食事を普段と違った食形態を提供しながら、季節感などを実感できる環境を設ける。

休日を利用して利用者の意向に沿って、障がい者スポーツ大会などに参加する。

日中通所事業所や相談支援専門員との情報共有やネットワークの構築を図り、ニーズにそった支援を提供する。

(3) 訓練給付費予算

4月	1, 100, 000	10月	1, 100, 000
5月	1, 100, 000	11月	1, 100, 000
6月	1, 100, 000	12月	1, 100, 000
7月	1, 100, 000	1月	1, 100, 000
8月	1, 100, 000	2月	1, 100, 000
9月	1, 100, 000	3月	1, 100, 000

2025年度訓練給付費	13, 200, 000
-------------	--------------